

千葉県土石採取対策審議会  
会長 渡邊 勉 様

2010年1月26日

鬼泪山「国有林」の山砂採取に反対する連絡会  
鬼泪山の国有林を守る市民の会  
安房・鬼泪山国有林を守る会

貴職におかれましては、千葉県民のための審議会にご尽力頂き、誠にありがとうございます。今回は、私たちの提出する資料をご検討いただけることに、心より感謝申し上げます。

鬼泪山 104、105 林班からの山砂採取については、私たちも県民も、多くの点について不安と疑問を感じております。

私たちは何度も何度も鬼泪山に行って調査しました。文献も調べ、専門家の見解も伺いました。地元の古老に昔からの話を聞き、現に鬼泪山からの水を利用している住民の話も聞きました。君津市では、昔、鬼泪山に植林に入った人の話や、40年間も苦しんできた山砂ダンプ公害の話も聞きました。

鬼泪山の水を水道水として利用している富津市では、直接話をした人の多くが「もうこれ以上鬼泪山から砂を採ったらだめだ。」と言います。山歩きを楽しむ県内外の人たちも、「鬼泪山を無くさないで」と言っています。

それらの方々から頂いた、「鬼泪山国有林の山砂採取を許可しないよう要請します」という知事宛の署名が、現在 8,808 筆に達しております。

私たちは、鬼泪山国有林からの山砂採取についての見解を、科学的・客観的な資料に基づいて述べたいと思います。鬼泪山 104、105 林班からの山砂採取を計画されているの方々からも、科学的・客観的な資料を添えた見解が出されることと思います。

土石審委員の皆さまには、双方の見解と資料を読み解かれ、ぜひとも県民の不安と疑問を解明し、解消していただけるよう、お願い申し上げます。

そしてその結果について、県民に得心のゆく説明をしていただけるよう、要望いたします。

**見解 1** <sup>きなだやま</sup> 鬼泪山 104 林班・105 林班から山砂を採取すると、<sup>せきやまゆうすい</sup> 関山湧水や  
<sup>なかつざわゆうすい</sup> 仲手沢湧水の水量が減るか、最悪は涸れて、富津市の水道水と灌漑用水  
<sup>せきやまゆうすい</sup> (関山用水) が打撃を受ける可能性がある。

[鬼泪山は、巨大な砂の塊。]

東西 12km 南北約 3km、厚さ 250m のレンズ状の形をした市宿層とよばれる巨大な砂の層がある。この市宿層は水をよく透すが、鬼泪山も鹿野山もその一部である。

(図 1) 市宿層の下には、あまり水を透さない梅が瀬層や国本層があって、南南東から北北西に向かって傾き、また東北東からも傾いている。だから市宿層は、北西方向の関山近辺で最も低くなっていると思われる。(図 2)

[関山の湧水は、日照りが続いても涸れることはない。なぜか?]

鬼泪山から鹿野山に広がる市宿層では、森林が多いこともあって、降った雨は蒸発や流出が抑えられて多くが地中に染み込む。長い時間をかけて浸透した地下水は、スポンジに水が吸収されたような状態で、山の形をなぞるような形に滞留している。だから横井戸でも水が得られる。(図 3) その市宿層が浸蝕されて、深く刻まれた谷が帯水層に至ると水があふれ出す。それが関山湧水で、水を含む砂層が大きいので、常に一定量が湧き出す。(図 4) なお、もっと下の地下水は、市宿層の東・西・南の三方向から、最終的には最も低い関山近辺に集まってくると思われる。地下水を汲み上げる大佐和井戸が関山近辺に集中していることが、それを示している。

[その、涸れないはずの関山湧水が、なぜ半分になってしまったのか。]

砂層に雨が降り、地下水が維持されるかぎり、長年湧水は涸れることがなかった。しかし、40 年ほど前から、浅間山、鬼泪山の一部、鹿野山からの山砂採取が続いた。水を吸収する砂山がなくなれば、市宿層全体の地下水面が低下する。(図 5) 山そのものが消えれば雨も降らなくなる。(図 6) 山林がはぎ取られれば保水力はなくなる。雨が山に染み込み、地下水となるまでは長い時間がかかる。砂を採り始めてから数年～十数年を経て、市宿層全体の地下水位が徐々に下がったことで、関山湧水も徐々に減って、半分になってしまったと考えられる。(図 4、前の水位から今の水位へ) 関山湧水の減少と時を同じくして、<sup>なかつざわ</sup> 仲手沢湧水や<sup>じゃぼり</sup> 蛇堀湧水も同じ割合で減少している事実が、地下水位の低下を裏付けている。(資料 7)

なお、関山湧水減少の原因を、上流での土砂崩れに求める意見もあるようだが、土砂崩れのあった所では依然として湧水しているし、そもそも地表の一部が崩れたことで、地下水位が低下することはあり得ない。また、関山上流の土砂崩れでは、仲手沢や蛇堀の湧水が同じように減少した事は説明がつかない。

以上の見解が違うと思われるのであれば、以下の点を解明していただきたい。

- ① 鬼泪山山系の地質構造と地下水の流れはどうなっているのか、
- ② 関山付近に湧水や井戸が集中しているのはなぜか、
- ③ 関山湧水・仲手沢湧水・蛇堀湧水が、同時期に同程度減少したのはなぜか、

**見解2** 鬼泪山104林班・105林班からの山砂採取によって、この地域の気象・気候が変わる可能性がある。

[浅間山がなくなって、どんなことになったか。]

最近、佐貫町駅―上総湊駅間の内房線で、突風による列車運行停止が頻発している。(H21年1月～22年1月21日で16回=JR千葉支社調べ) また、周辺住民によって、湊地区での降水の減少が指摘されている。

この地域では、山砂採取によって、国道127号線の東の浅間山も、西側の山もほぼ消えてしまった。風を遮る山がそろってなくなったために、風の通り道ができて、東京湾からの突風が通り抜けるようになった。また、浅間山がそっくりなくなったことで、以前は雨をもたらしていた湿気を含んだ南風は、雨を降らすことなく通過することになったと考えられる。(図6)

もし、山砂採取が気象・気候変化の原因でないとするならば、  
④突風の頻発や降水の減少は何が原因か、解明していただきたい。

**見解3** 鬼泪山104林班・105林班からの山砂採取によって、鬼泪山国有林の自然環境の保全機能も、資産価値も喪失する可能性がある。

[鬼泪山は、金に換算しきれない程のとてつもない価値を持っている。]

鬼泪山は首都圏から直線で50km圏内に広がる広大な国有林で、とても貴重な自然環境を残している。だから、千葉銀行など大手の企業も、社会貢献とイメージアップのために分収林を管理している。鬼泪山の、国有林が果たしている働きだけを挙げても、片手では足りない。

- ・中に入ると「空気が違う」と実感できる、大気を浄化し、湿度を保つ働き
- ・雨水を吸収し、浄化し、貯え、少しずつ放出することで、農地も人間も潤う働き
- ・土壌を肥やす働き、雨や風が土壌を削り流し、吹き飛ばすのを防ぐ働き
- ・コゲラなど様々な動植物を養って、多様な生き物を循環させる働き
- ・気温の上昇を抑え、CO<sub>2</sub>を吸収する、温暖化防止の働き
- ・森林ウォークや森林浴、森林セラピーなど、訪れた人を癒す働き
- ・古代の伝説・伝承の山であり、先人が手をかけ守ってきた里山の働き
- ・なにより今後世界中で足りなくなるであろう、木材資源の循環林そのもの

山砂を採取すれば、森林が今の状態に回復するまでの100年間、あるいはそれ以上にわたって、その働きを停止する。たとえ100年後に森林がもどっても、山林としての働きは残っているか、だれも保証できる人はいない。

国民の共有財産である国有林からの山砂採取を計画するのであれば、どれだけの経済効果があるか、だけではバランスがとれない。国有林が消えること、山がなくなることで、失われるだろう以下の点についてもぜひ解明をお願いしたい。

- ⑤国有林を伐採し、再度植林して現在の状態まで復元するのに必要な時間、その間の人件費を含む費用、及び資源循環林が失われている期間の損失額
- ⑥森林機能の停止と、山体消失によって減少するであろう、降水量、地下水貯蔵量、湧水量、灌漑水量、CO<sub>2</sub>吸収量、酸素発生量、オゾン発生量、動植物の種類と個体数
- ⑦森林機能の停止期間と山体消失によって変化するであろう、表面流出水の量と質、染川などの河川の流量と水質、流れ出す土壌量、大気温度と湿度、風の強さと向き、砂塵、景観
- ⑧山砂を掘り出す重機、運搬するダンプの出すCO<sub>2</sub>及び窒素酸化物、ダンプ走行による道路の破損や騒音、振動、粉塵
- ⑨上記⑥、⑦、⑧が周辺住民に及ぼす影響と、その影響を回避するために必要と計算される費用

**見解4** 鬼泪山104林班・105林班の国有林を犠牲にするほどの価値のある公共事業が、今、千葉県では見当たらない。

[大量生産・大量消費を続けて、地球も人間ももつだろうか？]

山を削り、海岸を埋め立て、ダムを造り、巨大な橋や高速道路を通す、それが豊かなことだ、という時代は転換期を迎えている。国や自治体が巨大な公共事業を推進する時代ではないと思われる。本当に必要な建造物にコンクリートは使用されると思うが、その骨材もリサイクルが始まっている。

今後50年にわたって、国有林を伐採し、山を丸ごと削り、貴重な飲み水の水源を涸らす、そこまでして、住民の生活環境を犠牲にしてまで行うほどの価値のある、千葉県に有益な公共事業が今は見当たらない。

もし以上の見解が違うのであれば、

- ⑩現在提案されている千葉県に有益な公共事業名と、その公共事業が国有林、山、水道水源を犠牲にしてまでも必要な理由、を提示いただきたい。

# 図1 地質図

(地質調査総合センター)

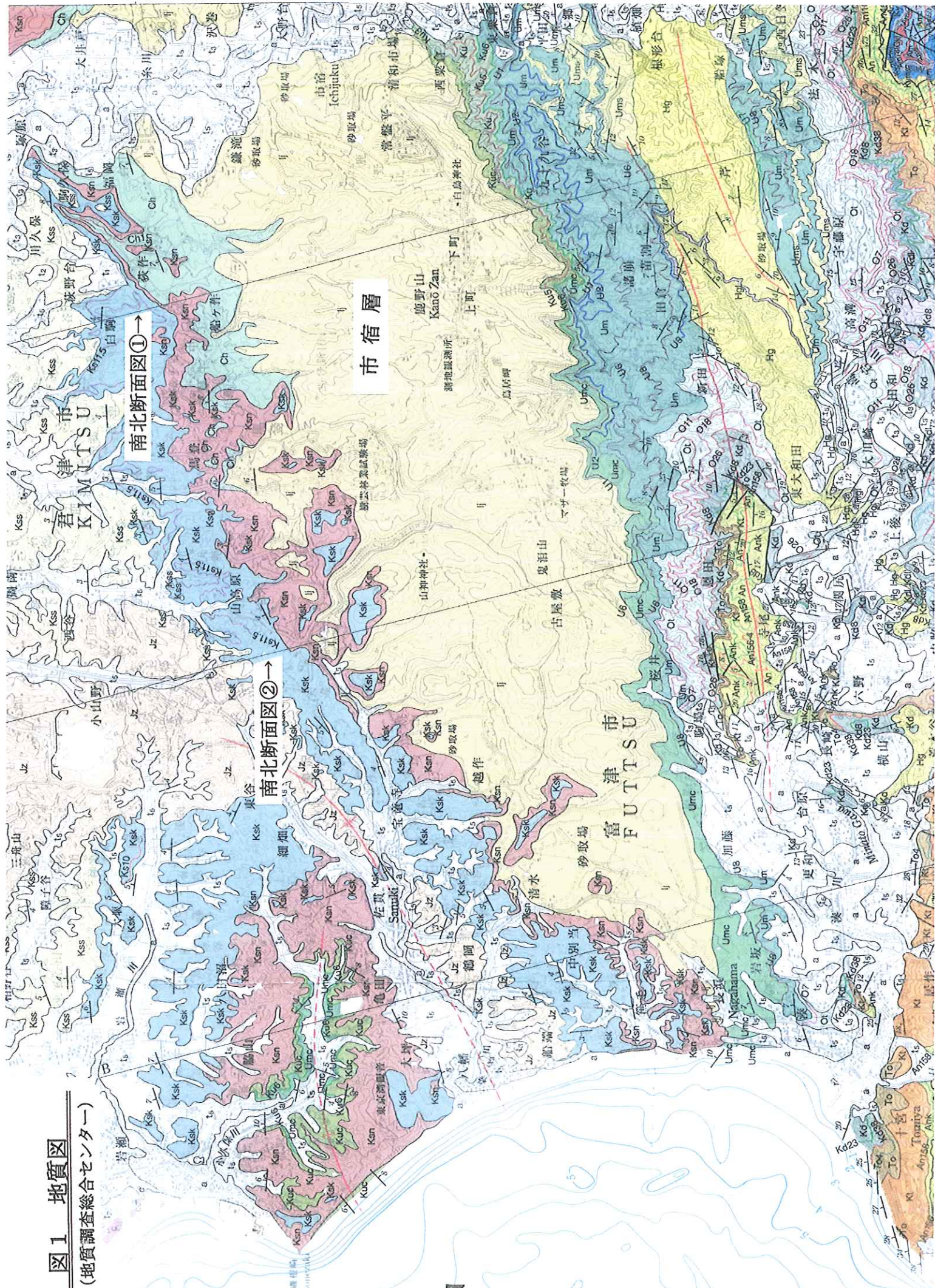
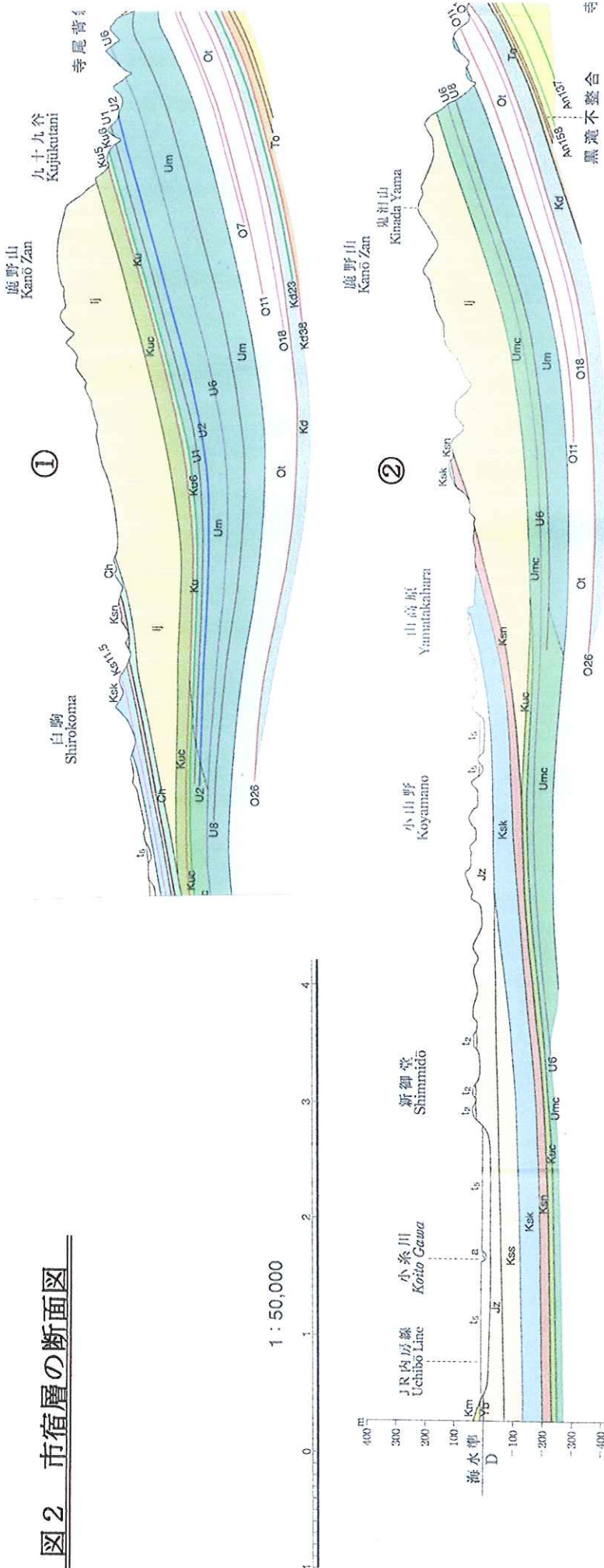
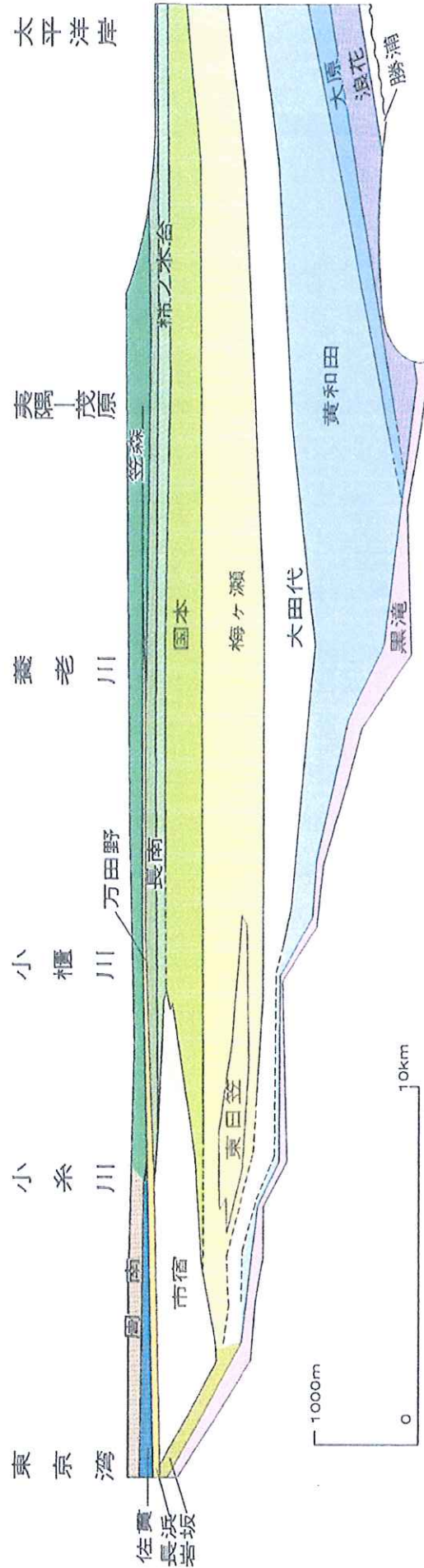


図2 市宿層の断面図



市宿層の南北断面図 (地質調査総合センター)



市宿層の東西断面の模式図

(千葉県自然誌 大地編)

図3 横井戸の模式図

(図3, 4, 5とも佐々木)

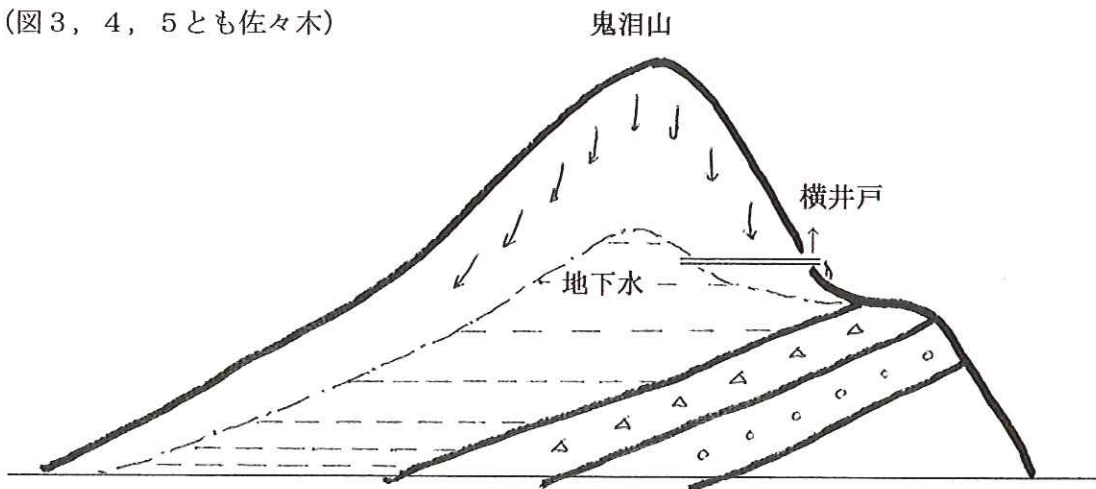


図4 関山湧水の模式図

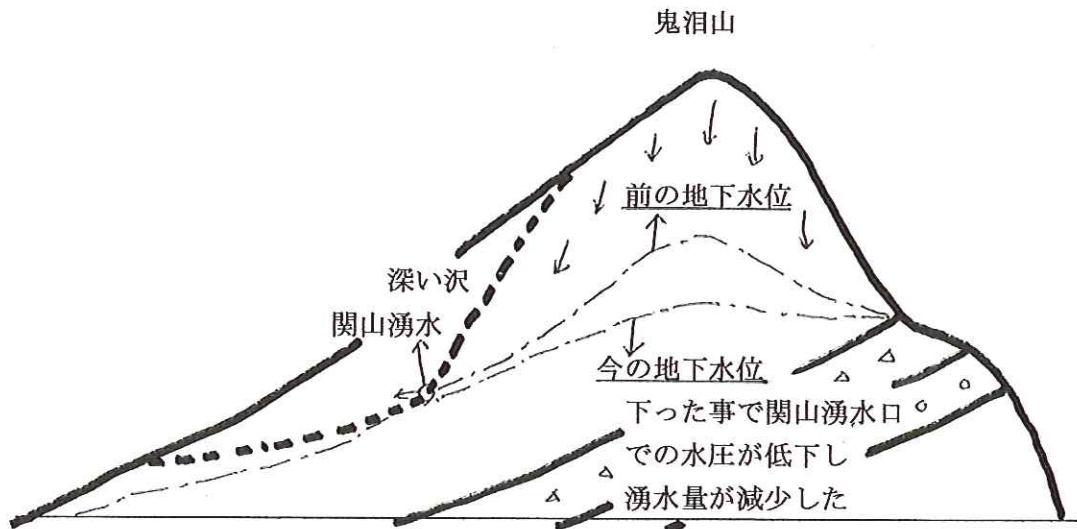


図5 山体消失と地下水位低下の模式図

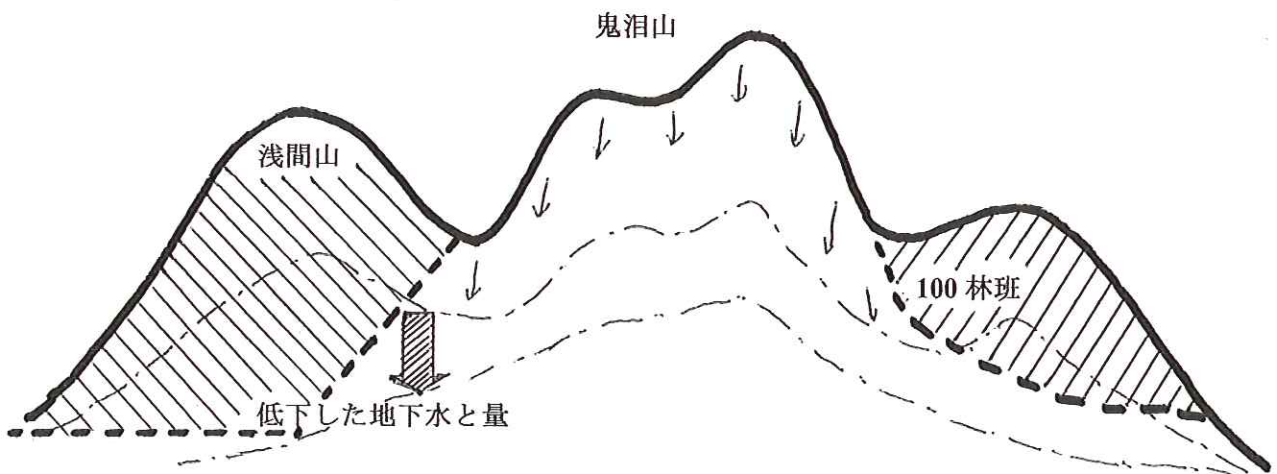


図6

1. 千葉県の子平均降水量

(千葉県の子然誌 本編2 千葉県の子大地)

千葉県の子平均降水量は、左図のように、清澄山系を子心に、南部の子山地に多い。

また、夏期(富津市は10月)に多く、南の子海からの湿気を含んだ風が半島に上陸するときや、山にかかった時に雨をもたらす。

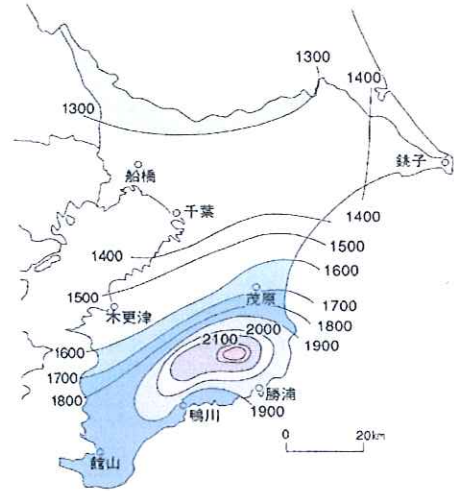
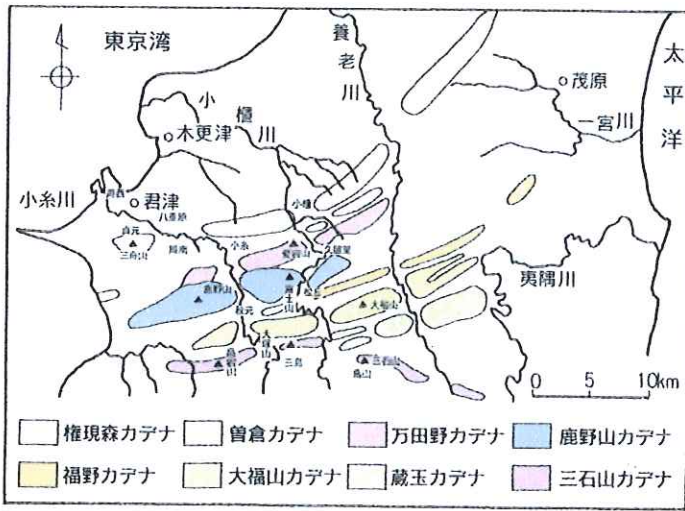


図4-3 年平均降水量  
1979~1990年の平均(準年平均)。ただし、鎌倉は1986年以降観測点移動。(単位: mm)

2. 房総半島中南部の子列と、鬼涙山の子降水模式図

カデナの子分布 (君津市史 子然編)



房総半島の子南部には、カデナと呼ばれる山の子列が何本か連なっている。(左図)

地層が北西方向に傾斜している所のできるのカデナの子形は、浸食作用の結果、片方が崖で、もう一方が緩い斜面になりやすい。

千葉県の子南部では、鬼涙山断面図(下図)のように、南が崖で北がなだらか。湿った南風が、崖斜面を上昇する時に雨雲が生まれ、雨をもたらす。



(原図 佐々木)

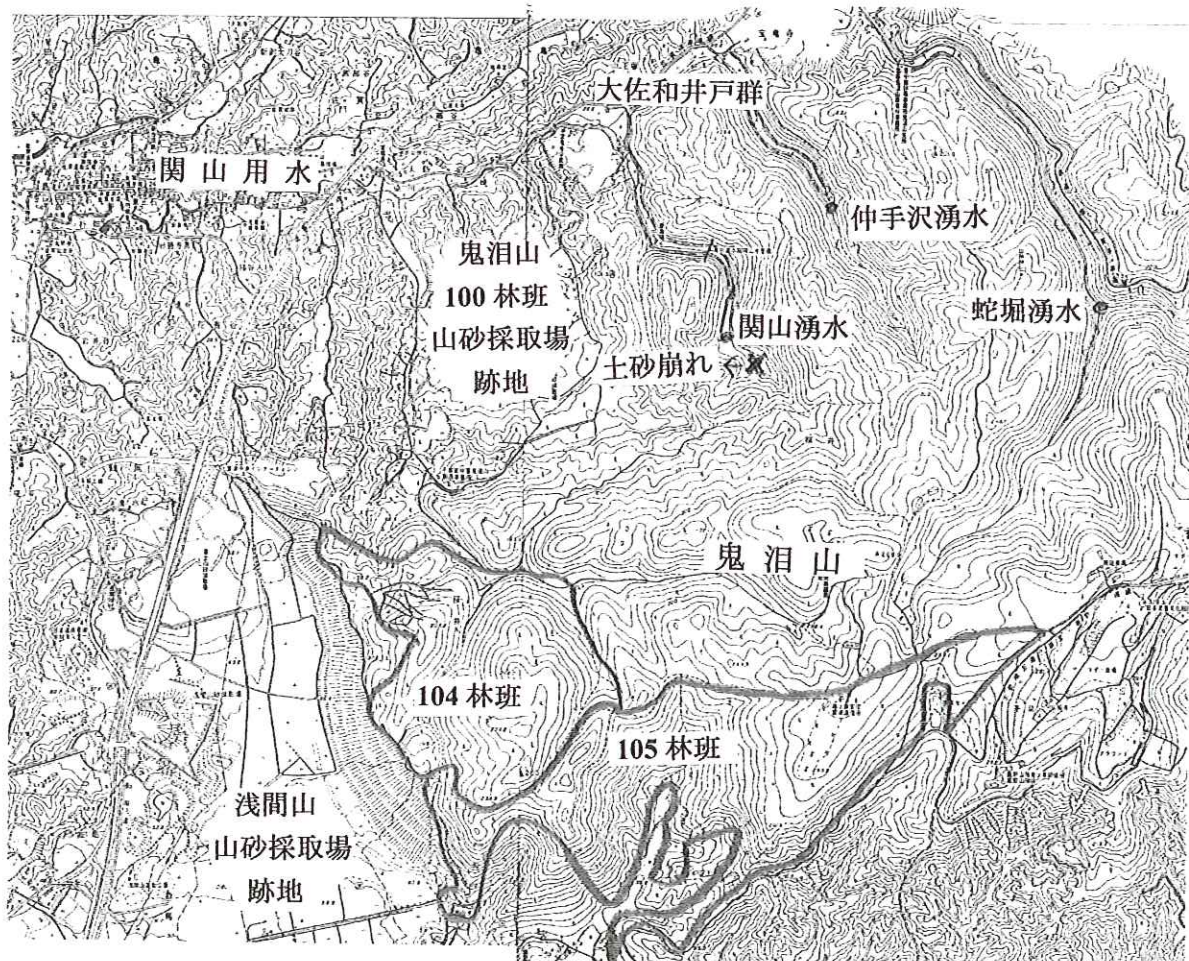


資料 7. 関山①・仲手沢②・蛇堀③の位置と湧水の日量の変化

	昭和 44 年		平成 17 年	
関山湧水	13,000 m <sup>3</sup>	→	6,200 m <sup>3</sup>	(54%減)
仲手沢湧水	2,000 m <sup>3</sup>	→	1,000 m <sup>3</sup>	(50%減)
蛇堀湧水	3,000 m <sup>3</sup>	→	1,200 m <sup>3</sup>	(60%減)

帯水層の広さ 16.5 km<sup>2</sup>、 地下貯留量 1 億 6 千万 m<sup>3</sup>、 自然流動量 2 万 m<sup>3</sup>/日

(昭和 44 年、大佐和町水源調査 浅野工業 KK 千葉大 前田教授 他)  
(富津市・茂木氏提供)



鬼泪山国有林からの山砂採取事業に対する千葉県知事あて署名は2010年1月25日現在、下記の通り集約しています。

- 1 「鬼泪山国有林・山砂採取事業の不認可を求める要請」(鬼泪山の国有林を守る市民の会) 8,808筆。内7,549筆を千葉県知事に提出済み。

《別添1》

- 2 「鬼泪山国有林の山砂採取事業着手のための土石採取対策審議会の開催に関して堂本知事の慎重なる判断を求める要望書」(安房・鬼泪山国有林を守る会) 2,088筆。  
(千葉県知事に提出済み。)

《別添2》

2010年1月28日

鬼泪山「国有林」の山砂採取に反対する連絡会  
鬼泪山の国有林を守る市民の会  
安房・鬼泪山国有林を守る会

# 《別添 1》

千葉県知事様

## 鬼泪山国有林・山砂採取事業の不認可を求める要請

貴職の千葉県民の視点に立たれた県政運営に、敬意を表します。

さて、2008年10月15日の県議会において、請願「富津市鬼泪山国有林104林班ほかの山砂採取事業の、早期着手に向けての土石採取対策審議会の早期開催を求めることについて」が、自民・公明の賛成多数で可決され、09年1月27日、第1回の土石採取対策審議会が開かれました。

鬼泪山国有林の山砂を採取することには、次のような重大な問題点があります。

- ① 富津市民の生活用水の約36%をまかなっている宝童寺の貴重な地下水源が涸渇する恐れがある。また、染川湊川流域の灌漑用水にも大きな影響を及ぼす。
- ② 周辺地域の年間降雨量の減少・風力の増大など気候変動により農作等へ甚大な影響が発生する。
- ③ 山砂採取に伴って発生する多量の泥土・飛砂が海に流出し、漁業に深刻な影響を及ぼす。
- ④ 浅間山山砂採取跡地域の地殻が8cmも隆起したように、山を丸ごと削る山砂採取は山体浮上現象を引き起こし、周辺地域の地盤隆起、地下水位の低下など、修復不可能な被害が生じる。
- ⑤ 貴重な歴史遺産、しかも希少な観光資源が消失し、住民に大きな精神的・経済的損失をもたらす。
- ⑥ 緑の森が果している温暖化防止機能、大気浄化機能、保水・水源涵養機能のすべてが失われ、また生態系や生物の多様性が損なわれる。豊かな里山の喪失が受ける打撃は計り知れない。
- ⑦ 土砂運搬用の車両が激増し、「ダンプ公害」が周辺住民の生活や交通安全をおびやかす。

千葉県は平成20年度アクションプランで「緑の社会資本である千葉の森林を蘇らせ、次代に引き継ぐために、森林の公益的機能の持続的な発揮を目指す」としています。鬼泪山国有林の山砂採取は、この「美しい千葉の森林づくり」を真っ向から否定するものです。

ましてや国有林は県民にとっても国民にとっても、貴重な共有財産です。千葉県民の同意を得ずに、企業が自分勝手にこれを消滅させることは、決して許されてはならない行為です。

鬼泪山国有林の山砂採取を認可しないよう要請します。

鬼泪山の国有林を守る市民の会

会長 岩崎 二郎 富津市竹岡 578

氏名	住所

## 《別添 2》

### 鬼泪山国有林の山砂採取事業着手のための土石採取対策審議会の開催に関して、堂本知事の慎重なる判断を求める要望書

生物多様性戦略を推進するなど、日ごろより県民の視点に立った革新的な県政運営に敬意を表します。

・さて、10月15日の県議会最終日、請願「富津市鬼泪山国有林104林班ほかの山砂採取事業の、早期着手に向けての土石採取対策審議会の早期開催を求めることについて」が自民・公明の賛成多数で可決されました。

・新聞報道によりますと、知事は「国有林は国民の財産であり、審議会の多数決だけで決めるのではなく、広く県民の意見を聞いて判断したい」というご意見である一方、「県議会で採択された請願を無視できず、早ければ年内に土石採取対策審議会を開きたい」とのことです。しかし、これまでの審議会が、山砂採取事業に認可をおろすことを前提に開かれてきたことはご承知のとおりです。

・鬼泪山国有林の山砂を採取することには次のような重大な問題点があります。

1. 富津市民の生活用水の約36%をまかなっている地下水源に重大な影響をもたらす。また、染川・湊川流域の灌漑用水にあたる影響も看過できない。
2. 山砂を洗う際に生ずる多量の泥土が海に流出し、富津市竹岡から大貫に至る沿岸の海底に堆積して、漁業に深刻な影響を及ぼす。
3. 山を丸ごと削る土砂採取は山体浮上現象を引き起こし、周辺地域の地盤隆起、地下水位の低下など、修復不可能な被害が生じる。
4. 現場はマザー牧場至近距離にあり、景観破壊による観光資源消失は、県及び地元自治体や住民に大きな経済的損失を与える。
5. 生態系や生物の多様性が損なわれ、豊かな里山が受ける打撃は計り知れない。
6. 土砂運搬用の車両が激増し、周辺住民の生活や交通安全に悪影響をもたらす。

堂本知事は2008年度アクションプランの施策20で「美しい千葉の森林(もり)づくり」を掲げ、「本県の森林は、今後増大する土砂採取等の開発に伴い環境や景観の悪化が見込まれる。緑の社会資本である千葉の森林を蘇らせ、次代に引き継ぐために、林業振興を柱とする施策を抜本的に見直し、森林の公益的機能の持続的な発揮を目指す施策へ転換を図る必要がある」と説かれています。今回の鬼泪山国有林の山砂採取は、堂本知事の目指す「美しい千葉の森林づくり」を真っ向から否定するものではないでしょうか。

以上、堂本知事におかれましては事前に現地視察をおこない、地元富津市の市民や自治体を始め、近隣住民、観光団体、自然保護団体等との意見交換のうえ、土石採取対策審議会の開催には慎重の上にも慎重なる態度を貫くことを強く要望いたします。

氏名 name	住所 address

安房・鬼泪山国有林を守る会 ・ 299 - 2704 千葉県南房総市和田町和田 447TEL0470-47-5822 ・ FAX0470-47-5823 Email kinadayama@tetrascroll.info\_\_